

L'horloge

ロルロージュ

JUNE 2024
VOL. 167

OGU magazine

特集

休暇の 過ごし方。



FEATURE: HOW DO YOU SPEND YOUR VACATION?



#夏休み #サークル #しまたび #留学 #ボランティア

今年、 どのように 過ごす？

How do
you
spend
your
vacation?

7月末、待ちに待った長期休暇がスタート!
約2か月間の夏休みは、
長いようで短い貴重な時間。
せっかくなら、留学やサークル活動、
就職活動に向けた準備など、
フルに活用して有意義な時間を過ごしたい。
「今年はどう過ごそう?」
夏を迎える前に、考えてみましょう。



ローターアクトクラブとは？



認定状伝達式(2023年10月)



18~30歳の学生・社会人が会員で、会員自らがクラブを運営。社会の様々な課題に取り組む活動を通して、プレゼン力やリーダーシップが身につきます。日本だけではなく世界中に会員がいるため、人脈も視野も広がります。



メンバー募集中！



01. 夏休みこそ、大志を抱こう。

2023年の夏は、ローターアクトクラブの設立に向けて尽力した山本さんと吉田さん。サークル誕生までの道のりを振り返ってもらいました。

法学部3年次生 山本 凱斗 さん

RAC会長(2024年7月~)。大学では法律を学び、卒業後は地元和歌山への貢献を考えているものの、職業は模索中。危険物取扱者など多数の資格も保持。ほぼ自炊派で、得意料理は唐揚げやとんかつ。

OGU生ならではの ローターアクトクラブに

山本 大阪学院大学ローターアクトクラブ(以下RAC)が正式に発足したのは2023年の6月だけど、春ごろから学外のローターアクトクラブの交流会に参加したり、メンバー集めのための説明会を開いたり、発足に向けて動いてたよね。

吉田 そうそう、僕は山本くんに誘われて、「コミュニケーション力を高めたい」と思って参加することに決めたよ。

山本 僕は大学時代になくてできないことをやりたいなって気持ちがあったこと、学内では知り合えない社会人の方と交流できることも魅力に感じて。最初のころは、学生の立場の自分たちが、どんなふうにRACの活動をしていくかをつかみ切れていなくて苦労したな。

吉田 僕も、人にRACを説明する難しさを感じていたから、交流会で社会人の方にアドバイスをいただいたり、他大学のRACに出向いたり。少しずつ内容をつかんでいった。

山本 OGUのRACを形作っていく中で、人とつながる大切さを改めて実感できたと思う。

認定状伝達式の開催を めざして奮闘

吉田 2023年の夏は認定状伝達式の準備がメインの活動で。

山本 淀川花火大会の運営ボランティアや他のRACの例会にも参加したり、とにかく忙しかった記憶が。国際ロータリーから認定状を受け取る認定状伝達式をどういう形式にするか、たくさん話し合ったね。

吉田 メンバーだけで会議しても頭打ちになるから、顧問に相談して力を貸していただいた。

OGUのRACを支援してください。大阪南RACの方から、「大学ならではの式典に」とアドバイスをいただいたり、他大学の例を参考に、キャンパス全体を使う形に決めたよ。

山本 式典の日程を岸辺祭に合わせて、各所で大学やメンバーについてのクイズを出して交流を図ったのは、我ながら良いアイデアだったと思う。

吉田 当日までは順調に進むか不安だったけど、大好評で幕を閉じて大きな達成感があったなあ。大学のホームページでも紹介してもらえたこともうれしかった！

他大学RACと交流など 大学生らしい活動を追求

吉田 今後は、強い基盤作りが課題。メンバーのモチベーションにも違いがあるし、全員同じ目線に近づくことが理想だね。

山本 1年目は吉田くんが会長として対外活動、僕が幹事としてクラブ内のマネジメントをしたけど、2年目にあえて役職を交代するのは、メンバーにRACへの理解を深めてもらいたいから。

吉田 交代することで、お互いの足りない部分をカバーできたから、より良いRAC活動に結びつくはず。僕は社会的なだけ、おっちょこちょいだから幹事を務めることでそれを克服したい。

山本 今年の夏はクラブの応援や吹田市のクリーンハイクに参加して、メンバーどうしの結束を強めたいな。

吉田 僕は他の大学のRACの活動も気になる。

山本 夏休みが長いのは大学生ならではの特権。この機会に、他大学のRACと交流するのもありだと思うよ。

吉田 それで、最終的には世界中の大学のRACとつながりたいな！

経営学部3年次生 吉田 光希 さん

RAC幹事(2024年7月~)。「視野の広い実践的な人材」になるため、学内外で多種多様な人と積極的に交流。経営組織論や組織の中での課題解決に関心がある。趣味は、旅先でのバー巡り。

山本さん、吉田さんの休暇の話。

Q1. 今年の夏、やってみたい・始めたいと思っていることは？

山本さん / 約半年に1回友人と旅行していて、今夏は北海道・東北旅行を計画。現地のグルメが楽しみ！時間がある今だからこその旅を満喫します。

吉田さん / 就活に備えて、企業の本社が多い東京に滞在して長期インターンに参加するつもりです。東京でバーを巡って、一期一会の出会いも楽しみたい。

Q2. 「夏休みにやっておいたらよかった…!」と思うことは？

山本さん / 地元のホテルで清掃のアルバイトをしていて、もっと人とかわる仕事をしてあげばと後悔。知り合った人と色々話したり、知識を深めたかったです。

吉田さん / カナダへの短期留学や英語の勉強など、「やってあげば」ということはたくさん！海外で、外国の方や海外在住の日本人とも話してみたかった。

Q3. アルバイトについて教えてください。

山本さん / 人との出会いを求めて、テーマパークでアルバイトを始めました。お客様とのコミュニケーションには発見もあるし、喜んでいただけると嬉しい。

吉田さん / 家電量販店で商品案内などを行っています。お客様から接客を褒められた時はうれしかった。オープンキャンパスの在学生相談や学部相談も担当。



右:ビーチから見た夕焼け。日没が近づくと、周囲の島に夕日が溶け込んでいく。左:島の入り口でもある桟橋。研修所までは、ここから林道を約5分ほど登ります。

02.

気になってた 学院島に 行ってみる。

瀬戸内海に浮かぶOGUのキャンパス。島から見えるのは、穏やかな海に重なる多島美。自然あふれる、夏らしい景色に出合えます。

OGUが研修施設として所有する、周囲約1.2kmの無人島、通称「学院島」。JR岡山駅から在来線とタクシーなどを乗り継ぎ、神島外浦港からチャーター船に揺られると、学院島に到着します。自然に囲まれた島内には、ミーティングや宿泊可能な研修所をはじめ、プライベートビーチやバーベキュー場があり、ゼミやクラブの合宿先として毎年学生が訪れます。夕日がきらめく砂浜を散歩したり、釣りを楽しんだり…と、夏のイベントにぴったりです。都会の喧騒から離れた静かな島で、自然の美しさに触れてみませんか？

学院島しまたび体験ツアープラン

経営学部ホスピタリティ経営学科の後藤 登ゼミナール(メディア研究ゼミ)では、毎年、学院島でのゼミ合宿を行い、25年以上の歴史を誇る伝統行事となっています。2015年度以降は、「学院島+(プラス)プロジェクト」と称して、学院島を拠点に笠岡諸島の島々を巡り、「しまたび」の魅力やSNS等で情報発信するフィールドワークプロジェクトに取り組んでいます。歴代のゼミ生がオススメする、学院島しまたび体験ツアープランをご紹介します。学院島へのゼミ合宿はもちろん、クラブ・サークルや友人との旅行など、学院島ツアーのヒントになるかも？

プラン A 学院島 日帰りツアー

JR笠岡駅前の大型スーパーでバーベキュー用の食材を購入し、笠岡港から海上タクシー(チャーター船)に乗って、プチクルージングを楽しむコース。お肉をはじめ、海鮮のアヒージョや焼きおにぎりなどランチバーベキューでおなかを満たした後は、プライベートビーチでゆったり過ごすのが定番の過ごし方です。夕日を背に島をあとにしても、帰りに「岡山後楽園」の「幻想庭園」に寄り道できます。



プラン B 学院島2泊3日 無人島満喫ツアー

学院島合宿のスタンダードプラン。学院島の管理人さん夫妻が温かいおもてなしとおいしい食事で迎えてくださいます。集会室では勉強会や発表会での利用はもちろんのこと、カラオケや卓球も楽しめます。学院島の最大の魅力は、瀬戸内海に囲まれた無人島の大自然。「水平線から昇る日の出鑑賞」「プライベートビーチの散策」「流れ星が見られる満天の星空」が、ゼミ生のオススメです。



510ゼミ公式インスタグラム @oguha510zemi

プロジェクトの詳細はこちら



プラン C 学院島+笠岡しまたび体験ツアー

大小30以上の島々からなる笠岡諸島の一部に属する学院島。海上タクシーに乗って、学院島のそばに浮かぶ有人島へのクルージングはいかが？ 後藤ゼミでは、白石島をはじめ、北木島、真鍋島、六島を訪問しました。マリネレジャーの島や石の島、猫の島などで、非日常体験が味わえるはず。



大阪学院大学 学院島臨海研修所

学院島(差出島)は、岡山県笠岡市・神島外浦の港からチャーター船で10分ほどの距離にあり、大小合わせて約1,000もの島々で構成される瀬戸内海国立公園の一部。大阪学院大学の研修施設として昭和47年に開設。
【利用資格】 本学の学生・教職員 ※学生は5人以上のグループ単位
【利用期間】 2泊3日まで 【使用料金】 1泊2,000円(2食付)
【申込窓口】 学生課(12号館 N棟3階) ※申し込みは使用日の10日前まで



学院島 特設サイト



05. インターンシップに行こう。

近年、インターンシップなどを通じた実質的な採用活動が早期化しています。インターンシップにチャレンジして、志望する業界・企業への理解を深めましょう。



今西 優太 さん

2024年3月国際学部卒業後、西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)勤務。

2年次のとき、大型バスの運転体験もできるバス会社の仕事体験に参加しました。幼いころから乗り物が好きで、地域に密着し、人々の日常を支える仕事がしたいと考えていたので、正確・安全という「当たり前」を支える鉄道会社を志望。3年次には鉄道、バス、高速道路、航空などの交通インフラを中心にエントリーしました。エントリーシートや筆記試験対策も大切ですが、面接で自分の思いや熱意をアピールすることが重要だと思い、面接対策に一番力を入れました。エントリーシートの添削や面接練習は先輩やキャリアセンター、友人など、周りの人に頼ることも大事。第三者に見てもらうことで、自分では気づかないことや表現のアドバイスをもらえます。

＼ 就活スタートダッシュ / 夏のインターンシップ。

休暇中に実施されるインターンシップなどのプログラムが、学生と企業の最初の接点としてますます重視されています。企業によってはエントリーシートなどによる選考を設ける場合もあり、早期の準備が重要。特に自己PRは、自身の強み・弱みを理解しつつ「やりたいこと」「できること」「求められること」を考えるために、就職情報サイトがオープンする大学3年次・短大1年次の春ごろまでに準備していることが理想です。まずは、休暇を利用して興味のある業界のプログラムへの参加などから始めてみては？



国際学部4年次生
森本 朱音 さん

海外挙式などで留学経験者も活躍しているブライダル業界をメインに就職活動。志望のきっかけは、中学生のときの職場体験。

＼ OGUの / 留学プログラムについて

国際学部独自の海外留学プログラムと交換留学を併用すれば、4年間のうち1年半留学することが可能です。留学先の学びも単位として認定されるため、4年間で卒業することができます。

過去に台湾へ行った経験から、海外について学びたい、留学もしたいと思い、国際学部に進学。カナダ・バンクーバーへの学部留学が決まった時、「人生でいちばんだと思えるほど楽しいものにしよう!」と決意。長期滞在には不安もありましたが、勉強やホストファミリーとの会話で英語力を高め、最上級のクラスで終わることができました。現地ではダンススタジオでレッスンを受けるなど、様々な経験は大きな自信に。留学前は人見知りでしたが、帰国後はOGUの海外留学生との交流や就活にもためらわずに飛び込めるようになりました。



ホストファミリーと

Q1.

森本さんの
休暇の話。

英会話スクールに行きたいです。帰国後すぐ通いたかったけれど、時間の確保が難しく、対面レッスンでもっと英語力を磨きたい。

Q2.

留学生とのハウスシェア(CETハウスシェアプログラム)以外にも、時間がある夏休みにボランティアを経験すればよかったです。

Q3.

(取材時の3月)は就活中心の毎日なので、希望した日にシフトに入れてもらえる、大学近くの倉庫でアルバイトをしています。

03. 留学に挑戦。

2023年の8月から12月に、あこがれていた海外留学をかなえた森本さん。「一生の思い出に残った留学体験」についてエピソードを伺いました。



04. ボランティアをやってみよう。

お世話になった先生の誘いがきっかけで、学童ボランティアにトライした薬師さん。自身の体験を通して、ボランティアのやりがいを教えてくれました。



1年次の夏休みは時間を上手に使えずに過ぎたので、2年次の夏は充実させようと心に決めていました。そんなとき、私が小学3年生まで利用していた児童館の先生に「ボランティアをしてみない?」と声をかけられ、「やります!」と即答。7・8月はほぼ毎日、児童館に通いました。少人数で大勢の子どもに目を行き届かせることの難しさを実感しましたが、中身の濃い日々で、人の役に立てたことが何よりうれしくて。地元で子どもたちに「涼ちゃん」と声をかけられることもあり、機会があればまたやってみようと思います。

Q1.

薬師さんの
休暇の話。

就活に備えて、スポーツイベントの企画や試合の運営にかかわってみたい。1dayインターンで、スポーツ関連の現場に挑戦予定です。

Q2.

英語の勉強です。アルバイト先で外国の方に質問されてもとっさに上手く答えられなくて、残念な気持ちになったことがあります。

Q3.

1年次の秋からスーパーマーケットでアルバイトをしています。主な仕事は品出しで、商品を運んで並べたり値札を付けたりしています。



経済学部3年次生
薬師 涼さん

バレーボールやサッカーなどのスポーツ観戦が好き。将来、スポーツ関連の仕事に携わるべくスポーツ経済コースに進学。

わたしが夏休みにしたいこと。

「この夏、やってみたい・始めたいと思っていることはありますか?」。最後は、OGU生の皆さんに実施したアンケートを大公開!

※アンケート実施期間:2024年3月
対象:大学・短期大学部生・卒業生

メタバースを利用して海外の方とコミュニケーションを取る

経営学部4年次生

車の免許を取りたい

経済学部2年次生

司法書士や行政書士の資格取得に向け、勉強

法学部2年次生

アコースティックギターを買って、海で弾き語りをする

商学部4年次生

テントサウナ

経済学部卒業生

語学の勉強を始める

経営学部3年次生

保育園で保育補助のアルバイトをする

外国語学部4年次生

ランニング

経済学部卒業生

新しい趣味を見つける

法学部卒業生

海外旅行で世界を知る

経営学部2年次生

国内外を問わず、あちこち旅行に行きたい

経済学部4年次生



世界の舞台へ

秘めた情熱。

PROFILE
 アルバルク東京
 #8/スモールフォワード
吉井 裕鷹 選手
 2021年経営学部卒業。身長が高いからと誘われたことがきっかけで小学生からバスケットボールを始める。キャンプ好きで、チームメイトと富士山のふもとまで足を延ばすことも。在学中によく食べていたのは[とん井亭]のとん井と[庄平うどん]の親子丼。

バスケットを楽しむために
 積み重ねた時間。

昨年、沖縄で開催された「FIBA バスケットボールワールドカップ2023」では、日本代表チームのメンバーに選出されるなど、「日本を代表する期待のオールラウンダー」として注目を集める吉井裕鷹選手。大阪学院大学での4年間は、コロナ禍でのキャンパスライフではあったものの、楽しかった記憶しかないくらい充実した時間と環境だったと言います。「身体を強くすればバスケットが楽しくなるということに気がついたことで、とにかくハードにトレーニングをこなしていました。遊ぶこともできたと思います。が、突き詰めて練習やトレーニングに充てることもできる。自由時間が多かったため、そんな時間を自分のため、バスケットのために有効活用できた4年間だったと思います」。

1年次の春から主力に名を連ね、優秀選手賞や新人王受賞などチームの最前線で活躍。2年次で特別指定選手として大阪エヴェッサへ、3年次で現在所属するアルバルク東京へ練習生として加入するなど、学外での経験も多く積んだ学生時代。そんな経験をチームにも還元していく中で、バスケットボール部の行広伸太郎監督とは衝突することもあったそうです。「練習中の良くない態度を怒られたり、監督への要望を率先して伝えに行ったりもしました。試合に出られていない選手が監督に対して意見を言うのはなかなか難しいですし、チーム全体としても良い雰囲気にはならないので。メインで試合に出ている自分ができることは何だろう、ということはプレーだけでなく常に考えていたんだと思いますね」。そんな行広監督とは、今では大阪でお寿司をつまみながら語り合う仲なのだそうです。

心技体、成長し
 証明し続ける。



「ハードにバスケットを続けられること」。吉井選手は自分の強みをこのように表現しました。「人生をかけてやっていますし、今はお金をもらってプレーさせてもらっている環境。お金をもらうということは、それだけ責任もついでくるということ。自分が何を還元できるのかということとは常に考えていますし、そのためには日々のトレーニングを怠らないことが大事だと思っています。アルバルク東京の広報・川瀬さんから、「誰よりも早く体育館に来ていますね。練習熱いな姿に、年齢問わずチーム全体が引っ張られているんです」と、吉井選手のストイックさについてコメントをもらっている最中、カメラマンのすきをついてピースをした吉井選手。お茶目な一面も見せてくれました。

今後の目標は、「まずは夏に開催されるパリ五輪へ出場すること。長期スパンの目標は、とにかくトップの環境でバスケットを続けること」と語ってくれました。そのためにこれからは「考え方を安定させること」を鍛えていきたいと言います。「プロの世界は、身体とメンタルの強さが一番大事だと思っています。でもメンタルに関しては、強い・弱いではないんじゃないかと最近思っているんです。例えば指摘を受けた時に、良くなかった部分ばかりにとらわれず、自分にとって何が成長につながるかを柔軟に考えて、情報の取捨選択をする。フラットに自分自身と向き合うことをもって安定してできるようにすれば、それがトップで活躍し続けることにつながるのかなと思っています」。



アルバルク東京・吉井選手が練習に励む、トヨタ府中スポーツセンター



沖縄アリーナでの「FIBA バスケットボールワールドカップ 2023」 ©フォート・キシモト



OGU在学中も、アルバルク東京と同じ背番号8のスモールフォワードとして活躍



遠征の帰路、OGU時代からの恩師・行広監督と、いつものお店で

学生課

トレーニングセンター(20号館)のマシンをリニューアル

2024年4月、トレーニングセンターのマシンをリニューアルしました。定期健康診断と利用講習会を受けることで利用できます。

1F 有酸素運動を強化するためのマシンがそろい、筋肉や心肺機能を鍛えられます。



ランニングやウォーキング用のトレッドミル



エアバイク・リカンベントバイク・アップライトバイク

2F 筋力アップを目的としたマシンがそろい、目的に応じてマシンを調節できます。



フリーウエイト(ダンベル)・ウエイトスタック・プレートロードエリア



全日本学生ボディビル選手権の優勝候補

法学部4年次生
本多 虎之介さんのコメント

リニューアルに伴ってマシンが新しくなり、より使いやすい筋トレに対するモチベーションが上がる施設になりました。僕はボディビルという競技で学生大会全国制覇を狙っています。その目標に向かって日々ウエイトトレーニングに励んでいます。学生の皆さんの目標はそれぞれにあると思いますが、お互いに頑張りましょう!

【お問い合わせ先】学生課(12号館N棟3階)

キャリアセンター

就職支援行事

(主対象:大学3年次生・短期大学部1年次生)

キャリアセンターでは、就職支援に関する様々なガイダンスやセミナーを開催し、学生の就職活動を全力でサポートしています。日程や詳細は、学内掲示・OGUMAIL・キャリアセンターで確認してください。

■主対象:大学3年次生・短期大学部1年次生
※なお、早期に業界・企業研究に取り組みたいと考えている大学1・2年次生も参加できます。

【お問い合わせ先】キャリアセンター(16号館2階)

E-mail: career@ogu.ac.jp

URL: https://www.ogu.ac.jp/support/career

6月24日(月)	自己PR作成講座	インターンシップへの参加に向けた準備として、自己分析を踏まえた自己PRの作成方法について学びます。
9月下旬	就職活動 キックオフガイダンス	就職活動に向けての心構えや準備、就職活動が始まった時期にすべきことや様々な手続きなどについて確認します。 ※後期オリエンテーション期間中に開催予定です。
10月16日(水)	面接対策講座	キャリアセンターのカウンセラーによる模擬面接を体験できます。
10月10日(木)・11日(金)	第1回業界セミナー	企業の採用担当者から、業界の動向や展望などについて説明していただきます。
11月13日(水)・14日(木)・15日(金)	第2回業界セミナー	
12月12日(木)・13日(金)	第3回業界セミナー	

入試広報課

在学生および卒業生のご家族が対象の入試制度 総合型選抜・ファミリー

総合型選抜・ファミリーは、「本学在学生の兄弟姉妹」および「本学卒業生の子女、孫、兄弟姉妹」を対象とした入試制度です。本学の教育理念を理解し、校風の継承と特色ある教育活動の活性化に意欲のある学生を募集するもので、入学者全員に学費減免・資格講座受講無料の特典があります。

なお、この制度での受験には「オープンキャンパス」または「入試相談会」への参加が必要です。詳細は入試広報課までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】入試広報課(本館1階)

E-mail: adoffice@ogu.ac.jp

URL: https://www.ogu.ac.jp/admissions

夏期休暇中の特別貸出

夏期休暇中は通常より貸出の期間を延長し、上限冊数を増やします。話題の小説を読んだり、就職活動の情報を収集したりなど、図書館を大いに活用し、長期休暇を有意義なものにしてください。

貸出期間: 2024年7月16日(火)~9月19日(木)

返却期限: 2024年10月4日(金)

貸出冊数: 10冊(通常は5冊)

※大学院生は通常の20冊

【お問い合わせ先】

図書館2階メインカウンター

学生課

「2024 青春チャレンジコンテスト」募集

学生の皆さんが夢や目標に向けチャレンジしたことや大学生でしかできない体験内容について、感じたことや考えたこと、学んだことなど自分の意見を織りまぜながら、活動体験を魅力的な文章にまとめて応募してください。

テーマ	自由(大学生生活でチャレンジしたことや体験したことに限る)
募集期間	2024年7月上旬~10月下旬
賞品	入選者には表彰状と賞品(3万円~10万円相当額)を授与 応募者全員に記念品として図書カードを進呈

【お問い合わせ先】学生課(12号館N棟3階)

青春チャレンジコンテスト

2023年度銀賞受賞

『私の青春』(要約)



2024年3月 国際学部卒業
黒川 博史さん

私は、幼い頃に叔母から聞いた海外留学の体験談に憧れて、留学プログラムが充実している大阪学院大学に入学した。無為に過ごした高校時代の後悔から、絶対に充実させると心に誓った大学生活。英語を集中的に学習するLEI英語プログラムで、とにかく英語を学びたかった。

交換留学の条件のTOEIC®スコアを超えるため、国際学部の学部留学プログラムでエンデラン大学(フィリピン)のオンライン留学に参加した。1日5時間×3か月の500時間、マンツーマン形式で授業は行われ、徹底的に英語漬けの日々を送った。当初は英語が聞き取れず、チャット欄にタイプしてもらって、そこから意味を調べていた。次第に聞き取れるようになり、自分の意見を言えるようになると、英会話が楽しくて仕方なかった。最終的に交換留学の条件を満たす事ができた。エンデラン大学の私の担当、アストラッド先生には感謝してもしきれない。その後、交換留学に出願し、面接ではオンライン留学のおかげでスピーキングには



自信があり、緊張せず、自分の想いを表現する事ができた。ドイツのバイロイト大学への交換留学が決定し、アストラッド先生に報告すると、先生も自分のことのように喜んでくれた。あの時、目標のために自らを厳しい環境に置く決断をして本当に良かったと思う。それがなかったら、今の私はいない。第一希望の留学先はオーストラリアだったが、コロナによる入国制限で許可が下りなかった。英語圏に

留学できない時点で留学を諦める選択肢もあったが、「今しか留学はできない。どこへ行こうと、学ぶことはたくさんある」。そんな思いでドイツへ飛び立った。

3年次の2022年10月、人生初めての海外経験。ドイツ、バイロイトに到着後、住民登録や滞在許可証の申請、保険や携帯電話の契約、銀行口座開設など、すべて一人でこなした。言葉や文化の違いによる壁に何度もくじけそうになったが、一つひとつ乗り越えた。バイロイト大学では、主にドイツ語、英語、アフリカ社会の歴史の講義を受けた。印象に残っているクラスメイトがいる。35歳のインド人男性。彼は仕事をしながら講義に参加していた。彼は、つまづいている私に優しく教えてくれた。まるで小学生のように目を輝かせて主体的に授業を受ける彼の姿を見て、「私も頑張らないといけない」。そんな気持ちになれた。授業を受け、一緒に昼ご飯を食べ、街に買い物へ行く。「今夜、サークルいく? じゃあ、またあとで」。そんな何気ない日々が楽しかった。

大学ではバドミントンサークルに参加し、友達の紹介でバイロイトの街のバドミントンクラブチームにも所属した。言葉の壁は、挨拶と笑顔で意思疎通をし、解決した。みんなが私の名前を呼んでくれ、誘ってくれたことが嬉しく、バドミントンがきっかけで世界中に友達ができた。

幼い頃からの「海外でスキーをしたい」という夢。その夢を叶えるために国境を電車で越え、2022年末から翌年始をオーストラリアで過ごした。スキー場の一番高い所からアルプス山脈を眺めた時、何にも代えられない気持ちになった。初めての海外でうまくいかないことがたくさんあり、何度も心が折れそうになった。だが、この景色を見た時すべてが吹き飛んだような気がした。オーストラリアの標高3,000メートルで見たアルプス山脈の絶景を、私は死ぬまで忘れないうら。



日本との時差が8時間ある就職活動はハードで、朝4時に起き、5時から7時までオンラインでのインターンシップに参加し、8時からの授業に出ていた。

日本へ帰国し、何不自由ない生活が続くと、感覚が鈍る。そのような時は、海外生活を思い出し、私に関わってくださる方々へ感謝したい。

国際センター

2024年度交換留学 (春出発)募集

来年春に出発する交換留学の参加者を募集しています。海外留学は、人生にとってかけがえのない経験になります。ぜひチャレンジして新しい世界に飛び出してください。

出願期間: 2024年7月1日(月)~7月12日(金)

留学開始時期: 2025年2月、3月

※交換留学プログラムは年2回の派遣を実施しています。

その甲斐あって、帰国予定の2023年9月まで最終選考を待つてくださった第一志望の企業から、内々定をいただくことができた。

タイ人の親友とは、ドイツ語の授業と一緒に受け、授業後は学食でご飯を食べ、夜はバドミントンをした。ここまで気を許せる友達は、大学生活4年間で初めてだった。彼は、いつも私に寄り添ってくれた。彼とお別れする最後の日、いつもと変わらず彼とバドミントンをしてた。帰り道、「じゃあね」と、

私。毎日会うことが当たり前過ぎて、明日にはもう会えないなんて思いもよらなかった。「じゃあ次はタイか日本で会おう」と彼は言った。今となっては、もっと感謝とお別れの言葉を伝えておけばよかったと思う。彼に会えて本当に良かった。

まるで人生数年分を圧縮させたような1年だった。どんなに辛い事があってもその後、例えそれが等価ではなくても絶対に良いことは起きる。そう学んだ。小さな嬉しい事でも喜べるようになった。予想外なことが起きてもポジティブに考えられるようになった。

「Hiro!!」「Hiro san!」「Hey, What's up Bro?」みんなが名前を呼んでくれる、声をかけてくれる。私に関わってくれる。私が気にかけてくれる。それがどれだけ幸せなことか。日本には気がつけなかった。

「挑戦は成功するか

もしれないし、失敗するかもしれない。つまり、何もしないのが一番の安全策」。そう考えていた留学前の私とは違う。挑戦は嫌だ。だが、一歩その環境に踏み込んでしまえば、あとは何とかなる。どんな環境でも自分は乗り越えられるという自信があった。330日間かけて海外で生活できたことや海外でチャレンジしたという事実は、きっとこの先何年経っても、一度きりの人生を後悔なく生きる力になっていくのだと思う。

日本へ帰国し、何不自由ない生活が続くと、感覚が鈍る。そのような時は、海外生活を思い出し、私に関わってくださる方々へ感謝したい。

PERSONNEL AFFAIRS

新任 [2024年4月1日付]



経営学部
島田 善道 准教授
経営管理論A・B/グローバル経営論A・B/グローバル・インテリジェンスA・B/ゼミナールIII A・B/実践課題研究II



経営学部
服部 淳一 講師
ビジネス・スキルII/ホスピタリティ会計学/ホテル・オペレーション/ゼミナールIA・B/ゼミナールIIA・B/実践課題研究I



経済学部
塩谷 雅弘 教授
データ処理入門/計量経済学の基礎A・B/地域経済論A・B/フレッシュマンゼミナールA・B/基礎ゼミナールA・B ほか



経済学部
前田 高志 教授
租税論A・B/専門ゼミナールII/財政学研究A・B/租税論研究A・B/公共政策特別講義 ほか



経済学部
大坪 恭子 講師
フレッシュマンゼミナールA・B/人間関係の心理学/心理学/就職実践演習(中・高)/特別支援教育概論/職業指導A・B



法学部
井上 典之 教授
法学概論A・B/憲法IIA・B(人権論)/専門ゼミナールIA・B/憲法研究/公務員入門/現代憲法 ほか



法学部
志谷 匡史 教授
会社法/商法A・B/商法IA(総則)/商法IB(商行為)/商法II A・B(会社法)/専門ゼミナールA・B ほか



国際学部
C.ミュラー 講師
オーラル・コミュニケーションIA・B~IV A・B/ライティングIIA・B/リーディングIIA・B/国際修学基礎I・II/実力強化英語I・II/実践英語(ワークショップ)



情報学部
須永 宏 教授
アプリケーション開発入門/情報ネットワーク基礎/データベース/ゼミナールIB/ゼミナールIA/ゼミナールIII A・B ほか



国際センター
J.ディーエイト 講師
Global Topics A/ことばと文化/アメリカの社会と文化/ヨーロッパの社会と文化/イングリッシュ・プレゼンテーションII ほか

退職 [2024年3月31日付]

経営学部
杉原 淳子 教授
堀越 昭夫 講師

経済学部
齊藤 慎 教授
山田 雅俊 教授
岩岡 真弘 講師

法学部
有澤 知子 教授

国際学部
根無 喜一 教授

情報学部
松田 潤 教授

EVENTS

2024年1月17日

摂津警察署から感謝状贈呈



昨年12月、経済学部3年次生の香川拓飛さんがアルバイト先のコンビニエンスストアでプリペイドカードを購入しようとした高齢者に声掛けしたところ、特殊詐欺被害者であることが判明しました。特殊詐欺を未然に防止したことに伴い、摂津警察署から香川さんに感謝状が贈呈されました。

2024年3月3日

吹田市ゆるキャラ総選挙2024

本学の Mascot キャラクター「フェニックスくん」が吹田市ゆるキャラ総選挙2024に出場しました。当日は吹田市のゆるキャラが一堂に会すなか、OGUプレゼンサークルの錦織 蓮さん(経営学部4年次生)が、フェニックスくんをプレゼンテーションでアピール。グランプリは逃したものの、感謝状をいただきました。



2024年3月6日・7日

入学予定者の集い

入学予定者を対象に、入学前に抱えている疑問・不安の解消や、友人づくりのためのプログラム「入学予定者の集い」を開催しました。参加者は学部ごとのグループに分かれてアイスブレイクゲームで仲を深め、先輩学生への質問タイムではクラブ・サークルや大学生のライフスタイル、授業の内容などについて多くの質問があり、入学後の大学生活へ期待を膨らませていました。



2024年3月19日

学位授与式

令和5年度学位授与式を2部制にて執り行いました。式では、卒業生・修了生の代表が壇上で学位記を受け取り、白井元康総長からはなむけの言葉が贈られました。これを受け、卒業生代表が4年間を振り返り、目標に向かってまい進した学び舎での思い出を語り、これまで支えてくれた家族や友人、先生たちへ感謝の気持ちを述べました。同日、リーガロイヤルホテル大阪で卒業謝恩パーティーを5年ぶりに開催し、卒業生たちは早春の別れを惜しみながら、それぞれの思いと期待を胸に旅立ちました。



2024年2月10日

中村良二氏が硬式野球部監督に就任

プロ野球選手として活躍後、強豪天理高校を春夏5回甲子園出場へ導いた中村良二氏を本学硬式野球部の監督に迎えました。新体制のもとで2024年度シーズンに臨み、関西六大学野球リーグでの優勝をめざします。引き続き、ご支援・ご声援のほどよろしくお願いいたします。



1987年2月	天理高校 卒業
1987年2月	近鉄バファローズ 入団
1996年10月	近鉄バファローズ 退団
1997年2月	阪神タイガース 入団
1997年10月	阪神タイガース 退団
2008年8月	天理大学硬式野球部 監督就任
2014年2月	天理高校硬式野球部 コーチ就任
2015年9月	天理高校硬式野球部 監督就任
2023年12月	天理高校硬式野球部 監督退任

中村監督略歴

2024年4月4日

入学式

令和6年度入学式を2部制にて執り行いました。新入生に向けて、白井元康総長が励ましの言葉を、シドニーオリンピック女子マラソンで金メダルを獲得した本学の卒業生・高橋尚子特任教授が応援メッセージを贈りました。その後、高橋特任教授は陸上競技部(女子)の新入部員たちと交流し、選手一人ひとりの疑問や相談に丁寧に答えるなど親睦を深めました。



PRESENT

広報誌「ロルロージュ167号」の感想をお送りくださった方の中から、吉井裕鷹選手の直筆サイン色紙を3名様に、重さ約98gで国内最小最軽量・モバイルバッテリーmocolonを抽選で6名様にプレゼントします。5,000mAhで、専用ポーチとモバイルバッテリー本体充電ケーブル付き。(全6色:何色が届くかはお楽しみ!)



応募締切: 2024年7月31日(水)
下記アンケートページまたは二次元コードを読み取ってご応募ください。
<https://brunello.osaka-gu.ac.jp/staff/present167>



EDITOR'S NOTE

休暇の意義は人それぞれ異なります。「自己探求」、「新たな体験や冒険」、「関係する人々との交流やつながり」、「1人旅の偶然/ハプニングの面白さ」など。どのような形であれ、休暇は日常から自分をリセットしてくれる貴重な機会になるでしょう。休暇中の体験が今後の人生に深い影響を与えることもあります。

休暇中の計画にはお金がかかることがあります。学生時代にお金が足りないのも必然です。知恵を絞ってどうしたらお金をかけずに、目

指したいコトやモノが実現できるかどうかを考えて欲しいと思います。その思考がきっと将来に生きることでしょ。もし失敗しても気にしないでください。失敗から学ぶことの方が実際には多くあります。また、その失敗はコミュニケーションの「ネタ代」だと思つと違う意義が生まれるかもしれません。

学生時代の醍醐味は何といっても休暇です。その物語を創造するのは学生自身。「休暇物語」のスタートです。

広報部長 稲田 賢次